

2024 年 11 月 14 日

2024 年 10 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連などの荷動きが堅調でほぼ前年並みに推移した。
巻取は学参、生損保、チラシ関連に大口案件がみられず前年を下回った。
（前年比 平判 99.3% 巻取 86.7%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の減少により前年を下回った。
巻取は定期案件以外に大口入札案件の受注があり前年を上回った。
（前年比 再生上質平判 82.8% 再生上質巻取 111.4% 再生上質計 96.0%）
（前年比 印刷用紙 A 全体 96.7%）

<A2 コート>

平判は、旅行関連パンフや飲食店、観光地チラシ等の需要は堅調に推移している。不動産関連のチラシの動きは鈍かったが、クリスマス商戦に向けたカタログやチラシ、食品デリバリーチラシに動きがみられ、グロスは前年を上回り、マットは前年を少し下回った。
巻取は、通販、食品デリバリー等で一部動きがみられたが、継続的に雑誌やカタログ等が落ち込んでいる。また、昨年 11 月の金融法の一部改正による保険関連のスポットが 10 月にあった影響もあり、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。
（前年比 平判 101.2% 巻取 61.0% 全体 92.8%）

<A3 コート>

飲食関連、食品デリバリー、生損保等の案件で一部動きは見られたものの、教育関連や不動産関連チラシの落ち込みが大きく、商印関連の頁物の案件も減少傾向の為、平判は前年を上回ったが、巻取は前年を大きく下回った。
（前年比 平判 114.9% 巻取 85.1% 全体 94.6%）

<ノーカーボン紙>

巻取は生保窓販帳票の動きは悪く、全体的にスポット案件もなく前年を大幅に下回った。
平判は前月低調だった反動や、一部損保系手書き帳票の動きは見られたものの、案件の減少や部数減の影響もあり前年を下回った。
（前年比 平判 94.6% 巻取 61.8%）

<上質フォーム>

衆議院選挙の入場券など選挙特需あり。また、マイナ保険証化に伴う資格情報のお知らせや資格確認書の案件が動き、民間の案件は低調ながら前年並みに推移した。

(前年比 100.4%)

<包装用紙>

衆議院選挙の影響で役所向け封筒等に一部動きがあり、特殊両更・両更晒にも動きがあり前年を上回った。純白ロールは堅調なスーパーマーケット向けに加え、大型ショッピングモールなどの包装用途にも動きがみられ、前年の数量と月平均の数量に対しても大きく上回った。

包装紙全体も前年を上回った。

(前年比 104.8%)

<板紙>

コートボールは年末年始向けの商品需要が出始めたが、商品値上げの軟包装化が響き低調だった。

特板は化粧品関連が引続き減少したが、医薬品が堅調、出版用途の需要があり前年を上回った。

高板はトレーディングカード需要が根強く、微増が継続している。

チップボールは出版関連で苦戦を強いられているが、菓子用貼箱関連が堅調な需要の為、前年並で推移した。

(前年比 100.3%)